

<p>令和7年度 第1回倉吉市国民健康保険運営協議会（概要）</p> <p>日時：令和7年12月25日（木）</p> <p>午後2時00分から午後3時00分まで</p> <p>場所：倉吉市役所第2庁舎2階 会議室201</p>	
<p><b>【出席者】</b></p> <p>・委員 芦崎 理千、山下 千之、森石 学、安梅 正則、福嶋 寛子、宮崎 聡、森本 英嗣、小谷 弓子、中尾 昭二、春木 眞知子、檀原 三七子、明里 利彦、金子 哲也（13名）</p> <p>・市長 広田 一恭</p> <p>・事務局 健康福祉部長 吉川 仁彦、保険年金課長 北中 恵里子 保険年金課 伊東 利恵、北村 章、佐伯 香里 （欠席委員：福井 満寿美、長谷川 理恵、上本 武）</p>	
事務局	<p><b>【日程1 開会】</b></p> <p><b>【日程2 新委員の紹介】</b> 2名の委員の交替があり、新委員として被用者保険等保険者代表の金子委員、公益代表の中尾委員を紹介。</p> <p><b>【日程3 会長あいさつ】</b></p> <p><b>【日程4 市長あいさつ】</b></p> <p><b>【日程5 諮問書の提出】</b> 市長から会長へ倉吉市国民健康保険料についての諮問書を提出。 （提出後に市長退席）</p>
事務局	<p><b>【出席者数報告】</b> ・委員16名のうち13名出席。委員半数以上の出席となるため、倉吉市国民健康保険条例施行規則第2条の規程に基づき、本日の会議は成立。</p> <p><b>【日程6 会長代理の選出】</b> 事務局一任により、民生児童委員連合協議会の中尾委員を提案、承認。</p>
議長 （会長）	<p><b>【日程7 議事録署名委員の決定】</b> ・倉吉市国民健康保険条例施行規則の規程により、議事録は事務局が作成し、議事録署名委員は議長が指名することになっている。 ・議事録署名委員は森石学委員と福嶋寛子委員にお願いする。</p>
事務局	<p><b>【日程8 諮問事項】</b> （1）倉吉市国民健康保険料について （1）倉吉市国民健康保険料について説明。</p>

	<p>保険料改定に係る事前確認事項について異議なし。</p> <p>○改定区分…医療・後期・介護のすべての区分で改定及び、子ども・子育て支援金を創設する。</p> <p>○賦課割合…事務局提案のとおり。 (応能割：応益割＝46：54 均等割：平等割＝65：35)</p> <p>○改定周期…令和8年度に限り1年を想定。 (保険料率改定の周期は2年に1度を目途としている)</p>
(質疑)	➤子ども・子育て支援金額が令和10年度まで少しずつアップしているが、11年度以降はさらに増額となるのか、維持されるのか。
事務局	→11年度以降も制度が続く限り維持されると考えている。今の時点で段階的に増額していくのが令和10年度までで、その後はこども家庭庁が示している予定では、同程度の金額が想定されている。
(質疑)	➤賦課割合について、他の近隣市町村と比較して平均なのか、高いのか。
事務局	→県内各市町村概ね似たような割合になっている。 均等割：平等割については、倉吉市は多人数世帯、子どもが多い世帯に配慮した割合にしている。
(質疑)	➤世帯に被保険者が多いとどちらが増えるのか。
事務局	→世帯に被保険者が多いと、被保険者1人あたりにかかる保険料額の均等割が多くなってきてしまうので、均等割の比重を少し下げている。
(質疑)	➤子ども・子育て支援金は250円から段階的に3年間で上がっていき、これからの保険料に上乗せされるということ、納付金の保険料水準統一化の影響額についても、当然それぞれの加入者の保険料として徴収されるという理解でよいか。
事務局	→子ども・子育て支援金プラス納付金の増加というのは別々であるという理解でよいかということか？ はい。医療費の納付金額は上がってきているので、それぞれが加算されるということ、子ども・子育て支援金以外にも要素があるということになる。
(質疑)	➤保険料水準統一分の加算される分と子ども・子育て支援金分の加算される分がプラスとなって、それぞれの加入者に令和8年度から加算される予定となるということでしょうか。
事務局	→はい。それに加えて医療費も増加しているというところもある。 医療費の水準の影響もあるが、それに加え医療費の増加なども含めたところで、その上乗せ増加分というところが考えられる。
(質疑)	➤保険料の増額について、県の統一した徴収にむけてどのようなストーリーでおられるか。この差をどのように埋めていって、市民に納得いただけるように考えておられるか。今から何か準備としてプールをしていくのか。
事務局	→統一にむけてはまず、納付金を県内で標準化し、その後に保険料率を統一していくということで、納付金ベースの統一は令和11年までにすることは決まっているが、保険料率統一については、県内市町村の合意が取れておらず、話し合いの途中である。 急激な保険料額の増加にならないよう、今ある基金などを繰り入れながら、また、丁寧な説明をしながら納得していただけるようにしていきたい。いずれにしても、今は保険料率が低い状態だが、平均というところに位置するためには上げざるを得

	ないところがある。そのあたりは丁寧な説明をさせていただきながら、理解を求めていきたいと考えている。
(質疑)	➤市民の数も減っており、加入者が多い現段階で何か準備できないのか、他県でもそのような試みをしているところがないか、先を見越しておかれることも必要かと思う。
事務局	→他県の推進事例なども参考にしながら、いただいた意見を参考にさせていただき進めていきたいと思う。
(質疑)	➤保険料率等の推移で資産割がゼロになっているのはなぜか。
事務局	→資産割は収益性のない土地や建物の資産税額に対して賦課され、低所得者層の負担になることから、4方式から3方式で賦課することを過去の運営協議会で協議させていただいた。
(質疑)	➤所得が多いから資産を持っているのでは。
事務局	→所得がゼロでも大きな家を所有している人も多く、相談を受けているということもあり、また、将来的に県内全市町村で3方式にしていこうという方針が打ち出され、他市の状況を見ながら3方式にした。 また、資産割の仕組みとして、同じ市町村に所有している不動産のみに賦課されるといった不公平なところから、見直そうという声があり3方式にした。 3方式への転換は全国的に多くみられ、近年では3方式の市町村が大多数となっている。
事務局	<p><b>【日程 9 審議事項】</b></p> <p>(1) 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算について</p> <p>(1) 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算について説明。 原案のとおり承認された。</p>
事務局	<p><b>【日程 10 その他】</b></p> <p>・今後の開催予定について、第2回を1月15日に開催、具体的な改定規模の案をお示ししたい。第3回を1月22日、第4回を2月12日に開催。</p>
	<b>【日程 11 閉会】</b>